

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市港南中央地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

港南中央地域ケアプラザの担当エリア（上大岡・笹下・日野第一地区）は、区役所・警察署・消防署等の公的施設が中心にあります。そして鎌倉街道・環状2号線・笹下釜利谷道路の大きな3つの幹線道路に面しているほか、地下鉄やバス等の交通網は充実しています。地域の中の住宅街には、商店が少なく、大型店舗や金融機関等がある上大岡、上永谷周辺が住民の生活の基盤となっています。

主要道路周辺は平坦ですが、その左右は急な山坂で道路幅も狭く、車が通れない場所もあることから、高齢者・障がい者・乳幼児をもつ親にとっては生活しにくい状況がみられます。高齢化により車の運転ができなくなり、商店も離れているため、買い物が高齢者の方やごみ出しが難しい方が増えています。そうした中、昨年度は上大岡地区の大型スーパーマーケットの閉鎖により、周辺地域の方がより買い物が不便になりました。そのため、港南中央地域ケアプラザでは、高台の団地の高齢者への買い物支援を地域の方々と検討し、試行で実施しました。

1970年代などに開発された分譲団地や戸建てが高台にあり、当初から居住している世帯は高齢化率が高くなっています。古い住宅と新しいマンションが混在している地域が多く、転入した住民と昔から暮らしている住民との日常のつきあいも希薄な実態があります。坂の上の地域は空き家も増えていますが、利便性が良い地域では、戸建ての後に賃貸ワンルームマンションなどができ、向こう三軒両隣の関係がますますわからない状況となっています。特にマンション内の高齢者世帯や高齢者独居の方の把握が難しいです。

また、エリア内の高齢者が増加する中では、認知症に関連する相談や医療機関からの相談が増えてきました。

各地区では、それぞれ地域活動が活発で、高齢者の事業だけにとどまらず、地域で開催される様々なイベントを通してつながりを大切に「防災・減災」「見守り・支えあい」「三世代交流」「健康づくり」「地域活動の担い手確保」などに取り組め、第3期地域福祉保健計画の推進に努めてこられました。

引き続き、防災も含めどのように地域のつながりをどう強化していくかと地域活動の担い手の高齢化、固定化が課題となっています。イベントやおまつりなどを開催し、地域の顔の見える関係づくりや若い世代の地域活動への参加を促していますが、若い世代の参加がなかなか増えないのが現状です。住民相互の助け合い「福祉ネットワーク」活動も実施されており、「向こう三軒両隣の関係」が地域によりつくりられています。町内会未加入者や新住民との関係性の強化が引き続きの課題となっています。既存の地域のサロンや集いの活性化のニーズが高まっています。「福祉ネットワークの周知やあり方、担い手について」現状の体制では難しくなってきたため、継続的に検討されています。

## (2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

当ケアプラザの窓口にいらした方に気持ちよく相談していただくために、職員誰もが「身近な相談者」を目指し、来館者にとって、相談しやすい雰囲気づくりに努めました。様々な相談に対して、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の職員が中心になって対応しましたが、必要に応じて5職種で連携し、また専門機関や区役所とも連携し、適切な支援を行いました。

高齢・子ども・障がい分野やその他の問い合わせについて「地域支援交流相談記録」、5職種が地域の課題を共有するための「地域関係者との地域課題に関する話し合い等報告書」を活用し、職種を超えての連携や情報の共有を図り、個別相談につなぐべきケースを発見できるように努めました。

また、高齢に限らず、障がい・子育てについての相談窓口となり、相談については関係機関につなぎました。介護サービスの最新情報や地域のインフォーマルサービス等の情報を収集して、支援を必要とする方に情報提供しました。

出前講座や地域のサロン、地域関係者との会合等、機会があるごとに積極的に参加し、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）や地域ケアプラザの役割などについて広報しました。

## (3) 各事業の連携

地域活動交流、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）、生活支援の職員は月に1回、5職種会議を開催し、担当ごとの事業などの情報交換、地域アセスメント、地域課題を把握し、支援方法を検討・実施しました。

地域福祉保健計画推進についても5職種連携し、地域の方々と取り組みました。

介護予防事業やボランティアスタート講座を協働で開催しました。生活支援コーディネーターが中心になり取り組んでいる「地域活動情報冊子」についても5職種で協働し、地域情報・課題等を把握しながら引き続き作成をしています。5職種で各町内会に出向き地域のサロン等の情報を積極的に把握しました。

地域関係者やボランティア等の打合せ内容や事業の実施記録を速やかに作成・回覧し、情報の共有を行い、ボランティア育成と活動場所の提供についても、共に検討しました。

ケアプラザの活用が少ない地域の出前講座を5職種で連携して実施しました。

地域での見守りの一環として、見守り事業「ひまわりホルダー」を5職種で連携し、推進しました。

## (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人の「人を大切にし、共に育ちあう」理念及び港南中央地域ケアプラザの事業方針「地域が主役・つながりを大切に・身近な相談者」のもとに、「人材育成ビジョン」及び「人材育成計画」を推進し、人材の育成に努めました。

ケアプラザ各事業において、地域における役割を果たすために事業ごとの専門性に依拠して、一定の資格要件および人員配置基準に従い、職員を配置しました。

法人では、独立した研修センターを設置し、職種・入社年数、経験年数など、様々な職種別、課題別など階層別研修を実施し人材育成に努めました。また法人内では、職種別会議を開催し、他のケアプラザとの情報交換や課題を検討し、自ケアプラザの事業や運営に役立てました。

また、事業所内でも年度当初に研修計画をたて、それに準じて研修を実施しました。

各職種が出席した会議や研修については、所内会議や報告書にて共有し、お互いの資質向上を図りました。

また、職員が、研修（外部研修も含む）や会議に参加しやすい職場環境づくりや体制づくりに努めました。

ケアプラザに勤務する職員として、公正・中立の視点や重要性を所内会議などで職員全員の理解を深め、地域や他事業所からの信頼がえられるように努めました。

朝礼では、日々の連絡事項のみならず接遇についても声を掛け合い、接遇の向上に努めました。

職員一人ひとりが「チーム港南中央の一員」として公正・中立な視点を持ち、自らの役割が果たせるよう、日常的な OJT 体制を引き続き行っています。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

第3期地域福祉保健計画については、そのために各関係機関と連携し、推進しました。また、3地区で開催される意見交換会への参加をはじめ、区社会福祉協議会や区役所と連携してアセスメントを実施し、地域ニーズを明らかにしながら、それぞれの地区にあった方向で支援しました。

連合町内会の定例会や民生委員児童委員協議会の定例会に出席し、意見交換しながら各地域の情報を収集しました。また、町内会やシルバークラブ、地域の企業などの要請により5職種が協働して出前講座を実施した際に、各団体の活動内容を把握しました。

上大岡地区は「みんなで上大岡を考える会」の開催支援や「連合・社協まつり」にて健康チェックコーナーを実施しました。また、「上大岡いきいきスクール」、「上大岡コミュニティランド」、「リハビリ教室」の支援をおこないました。

笹下地区は、ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所が事務局として広報誌「ささげひろば」の編集委員会や発行を支援しました。また、笹下地区民生委員・児童委員と共催し、三世代交流「ささげひまわりサロン」を開催しました。「桜まつり」「ささげまつり」にケアプラザとして参加し、ブースにおいて健康チェックコーナーの実施やケアプラザの紹介をしました。

日野第一地区は、「日野第一ふれあいフェスタ」の会場内の地区社会福祉協議会のコーナーで、地域活動の紹介、地域福祉保健計画の広報・周知、健康チェックの実施を支援した。また、「もめんの会」の開催支援や毎月25日の「五楽会」に5職種が参加し、参加者の相談や様々な情報提供を行いました。

各地域防災拠点の防災訓練と連携し、非常時における協力関係を強化しました。

#### (6) 区行政との協働

第3期地域福祉保健計画を推進していくために、区役所・区社会福祉協議会と連携して、地域ニーズを明らかにしながら、それぞれの地区にあった方向で支援しました。具体的には、5職種連携して地区アセスメントや、地域の課題、ニーズ、社会資源などを区役所・区社会福祉協議会と地域支援チーム会議やカンファレンスなどで共有し、共通認識を持って支援しました。

日常生活圏域・区域の生活支援・介護予防の充実を進めていくための協議体を区役所・区社会福祉協議会・地域の方と一緒に取り組みました。また、協議体から出てきた地域課題の解決のための取り組みを区役所、区社会福祉協議会と連携し、支援しました。

定年後の男性の支援として、区役所、区社会福祉協議会、区内ケアプラザの共催で実施するセカンドライフ大学校に参画し、担当地区の男性のグループ化を行い、地域に出る機会や地域での活動に繋がるきっかけ作りを行いました。

総合相談支援においては、区役所・関係機関と引継ぎや連携を図り、チームケアに結び付けることで相談者が安心して生活できるよう支援しました。

ネットワーク構築の為に地域の方、区役所、関係機関と連携し、地域ケア会議を実施しました。

地域の中で見守りの輪が広がるよう、区役所や関係機関と連携し、見守り事業「ひまわりホルダー」の推進や認知症サポーター養成講座を開催しました。今年度は、さらに見守りの目を増やすために区役所と一緒に「見守り協力事業者」として地域の商店や企業などに働きかけを始めました。また、中学教職員に向けて認知症サポーター養成講座を開催し、見守りの推進に努めました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

高齢者、障がい児・者、子育て支援など、それぞれの地域ニーズや特性に応じ企画を行い、幅広い世代の参加が得られるような自主事業を行いました。

なお、実施にあたってはボランティアグループ、地区社会福祉協議会、関係団体、街のアドバイザーなどの協力を積極的に呼びかけ、地域の方々のつながりを深まるよう支援しました。

昨年度に引き続き、高齢者対象の事業は、すべて介護予防の一環として、「事業一覧」の作成や入口に「情報コーナー」を設け、広報・周知し、地域の方々が興味のある事業を選択しやすくしました。2か月に1回発行している「それいゆ通信」の中でも、事業紹介記事を1面の目につきやすいところに載せ、参加につなげました。

需要の大きい0～1才児向けの事業は、小さな子どもを連れて参加できる季節のイベントを実施しました。2才児向けのイベントについては見直しを行ったが、参加数が少なく、来年度に向けてさらに見直しが必要な結果となった。

子育て中の方が年間を通して参加の予定が組めるようにと発行していた「子育て事業一覧」を改編して見やすくすると共に、赤ちゃん教室での配布や民生委員児童委員へ配布を行いました。

定年後の男性の支援として、区、区社会福祉協議会、区内ケアプラザの共催で実施するセカンドライフ大学校に参画し、担当地区の男性のグループ化を進め、地域に出る機会や地域での活動に繋がるきっかけ作りを行いました。

パパ講座では、父子の交流をすすめると共に、父親へケアプラザについて周知を行いました。

近隣中学校の職員対象に認知症サポーター養成講座を実施し、地域での見守りの一歩をすすめると共に、担当地区キャラバンメイトの活動の場も提供しました。

発達障害を理解するための講座を開催し、近隣小学校の放課後キッズなど地域の子育て支援者や当事者に理解を深めていただきました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

多目的ホールの貸室状況は、9～12時、12時～15時の枠は90%近い利用率になっています。多くの利用希望団体・グループがあるため、公平にご利用いただくために、毎月1日に抽選で利用を決定します。その際、比較的空いている夜間や土日などについての情報を提供し、できるだけ多くの方にご利用していただけるようにします。また、団体登録時にも比較的空いている曜日、時間帯をお伝えし、活動時間の設定などに活用していただきます。貸室の空情報もホームページ上で更新し、多くの幅広い層への情報提供に努め、ホームページをご覧になれない方のため、ケアプラザ内にも空き室状況を貼り出しました。地域福祉保健活動を推進するために、自主事業・出前講座や地域サロンでの出演依頼などをつなぎ、積極的に活動していただきました。

当ケアプラザで立ち上がったボランティアグループには、地域で開催されている様々な行事への参加をはじめ、ケアプラザのおまつりやボランティアフェスティバル、夏祭り（世代間交流）、盆踊り大会などで活躍していただきました。

登録団体のメッセージボードや団体登録書裏の登録表を利用し、登録団体の情報を公開し、活動希望者にお知らせしました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティアについては、地域のサロンなどでの活動、自主事業及び出前講座の運営やデイサービスでのボランティア活動など「できる時 できる範囲で 無理せずに」できる活動をコーディネートしました。

「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修を含んだ「ボランティアスタート講座」を開催し、参加者には地域お祭りや事業などに参加いただき、その後「フォローアップ講座」でボランティアスキルを学んでいただきました。また、ボランティア同士の交流を深めました。

「登録団体交流会」「個人・団体ボランティア交流会/感謝会」ではお互いの活動の情報交換や交流を図り、つながりの輪を広げることができました。

また、学生の実習を積極的に受け入れました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域版広報紙「それいゆ通信」を隔月発行し、自治会町内会の協力の下、担当地区へ回覧していただきました。内容は当ケアプラザの取組や事業の紹介、お知らせ、各地区の福祉保健活動、地域福祉保健計画の状況などの情報提供の他、地域ボランティアや貸室登録団体の福祉保健活動等の紹介を掲載しました。近隣施設にも配架や、出前講座の際には、地域の方々への情報提供を行いました。

1階のロビーにウォーキングポイントのリーダーを設置しているため、付近にウォーキングに関するチラシや、健康づくりに関するチラシを配架しました。階段の踊り場に3地区の広報誌、地域活動情報等を掲載できる「各地区の活動情報コーナー」を設け、地域の方にわかりやすい情報提供に努め、来館者に地域活動に興味をもっていただけるようにしました。

子育ての事業をはじめ、講座の募集については、区役所の広報紙やホームページに掲載し、若い世代の方など、多くの方にケアプラザの情報を提供しました。また、若い世代の情報拡散に有効な掲示板に見やすいチラシを掲示しました。

貸室の空情報もホームページに掲載し、幅広い層への情報提供に努めるとともに、ホームページをご覧になれない方には、ケアプラザ内にも空き室状況を張り出しました。貸室団体同士の交流になるように情報を収集し、誰もが貸室団体情報を得られるように情報ファイルを設置し、随時更新しました。

利用者アンケートから挙げられた避難経路などの館内掲示やホームページに福祉保健活動を掲載してほしいなどのニーズに対応し、実施することになりました。

相談等については、地域活動交流部門としてコーディネーター・サブコーディネーターの連携が取れるように日誌等を用い、利用される方からの情報を整理し、要望に迅速に対応できるようにしました。

地域においては、各関係機関の定例会や行事、サロンに参加するなど、地域活動を把握しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

地域の会議等に出向いた際に区コーディネーターで作成したチラシ等を用いて生活支援体制整備事業への理解・協力を広めました。

生活支援CO連絡会や自主勉強会等で区役所、区社会福祉協議会、他ケアプラザとの情報共有等で協議体の開催の方法、内容や生活支援体制整備事業の進め方を検討しました。

5職種で連携してアセスメントに基づき、それぞれの職種から見た地域課題等を共有し、協議体を開催すべきエリア・内容・参加者を確認して地域ケア会議と合わせて実施しました。また、協議体から出てきた地域支援の具体的な取り組みについて5職種・区役所、区社会福祉協議会と連携して取り組めるように情報共有をしました。

介護予防・生活支援サービス補助事業の地域への周知や申請の支援、内容の検討を一緒に行い、申請につなげました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域にあるお店や、生活支援に関連する活動をしている団体へヒアリングやアンケートを行い、地域の中や個人が課題と感じていることや、要望などを把握しました。また、お店から「地域の中にあるお店なので地域の方に配達などの機能を深く知ってもらう機会や、こうして欲しいなどの要望を聞ける機会を作りたい。」との要望で地域住民との意見交換の場を開催しました。

地域住民から出てきた買い物についての困りごとの声から地域住民のニーズ・課題把握のためのアンケートを住民向けに実施しました。アンケートの結果から「買い物」について年代ごとに不安や困っていることの違いや、自分のためにできることやしていることなども分かり、協議体の開催・支援方法の検討に繋げました。また、同様の課題を抱えている他都市の取り組みを知る機会を作り、支援方法を検討する際に提案させていただきました。

福祉ネットワークの会議は事前準備の委員会にも参加し、地域のニーズ・課題把握の他にも、地域内で配達を行っているお店を把握するためのアンケートの実施をしました。

「地域活動情報冊子」については4職種と連携し各町内会に出向き、地域情報・課題等を把握しながら引き続き作成をしています。また、ケアプラザの周知を併せて行いました。

区社協・4職種と連携し、地域の方と行う支えあいマップの際や福祉ネットワーク活動等をしている方から地域内の個別の課題、要望、地域内で不足していることの把握をしました。

区カンファや区役所・区社協・5職種で連携し、地域アセスメントを定期的実施し、各担当地域の高齢者の生活課題やニーズを把握しました。

地域の介護予防に関する取り組みやインフォーマルサービスなどの地域資源の情報把握、共有することにより事業や相談対応などに活かしたり、ケマネジャーからの問い合わせにも対応をすることができました。また、把握できていない情報も地域の方と顔つなぎができていたので、連絡も取りやすく、スムーズに連絡のやり取りができました。

### (3) 連携・協議の場

アセスメントや地域住民の声、アンケート調査、話し合いから見えてきた課題解決のために、課題共有から必要と考えられる生活支援の方法の検討のために住民や施設の方を交えて協議体を開催しました。協議体の開催にあたっては事前に地域の施設や企業に地域課題についてお話し、協議体への参加・支援への協力をお願いと、地域住民とのつながり作りもしました。協議体の開催後に具体的な支援の実施する際に店舗や施設と連携をすることができました。協議体の開催後もアンケートの実施などから、よりよい支援方法を共に考えながら主体的に課題解決に取り組めるように支援しました。

地域が主催する会議等の場を用いた協議体としては福祉ネットワーク会議の場を用いて活動の検討を一緒におこなったり、活動の検討につながるように地域のニーズ・課題把握するためにアンケートの実施や、生活支援をしている団体の情報提供などをしました。また、研修の内容を検討する際は会議の中で出てきた課題の解決に繋がるように研修内容を提案し、講師の選定や資料作成、今後の地域活動につながるようアンケート実施などの開催支援をしました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

同じ連合の中でも担当ケアプラザが複数ある地域や隣接している地域に関しては他ケアプラザと情報共有をし、協議体の合同開催などについて検討をしました。

区内の共通課題について1層協議体に参加し、他機関との情報交換をすることや、フォーラム等に参加し、他地区・他都市の取り組みを知る機会を作り、担当地区の課題解決につなげました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

地域包括支援センターの職員が地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターとともに上大岡・笹下・日野第一の各エリア担当となり、地域で行われる意見交換会や関係機関の定例会、サロンなどに参加し、地域の資源やネットワーク、地域課題を把握しました。

第3期地域福祉保健計画の推進を継続し、各地域、関係機関との協働で取り組みました。

地域の各関係機関を含めた地域ケア会議を推進し、その中から個別課題や地域課題等様々な問題把握し、ネットワークの構築に取り組みました。

また、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協働し、サロンや出前講座等で見守り事業「ひまわりホルダー」を推進し、各関係機関と連携しました。また、商店や薬局などに「見守り協力事業者」の周知し、見守りの目を増やしました。

## ② 実態把握

地域ごとの相談内容の集計や他職種連携での地域アセスメントを実施し、地域のニーズを把握しました。地域との関係が希薄な方等把握している相談者についてはニーズと状況の確認のため、必要に応じ個別訪問をおこないました。

各シルバークラブ連合会や自治会、町内会の各部会、サロンなどからの依頼に応じた「出前講座」等を引き続き行い、一人暮らし高齢者、高齢者世帯などの実態把握をすると共に見守りを必要とする方々の情報を把握しました。それにより相談に繋がった方が多くいらっしゃいました。

また、今年度は各町内会に出向き、町内会ごとの情報収集を生活支援コーディネーターと連携し実施し、地域資源の把握や地域ごとの実態把握を行ないました。

## ③ 総合相談支援

地域の方や民生委員等の福祉保健関係者、ケアマネジャー等のサービス事業所が気軽に相談できる窓口として活用してもらえるように、地域のサロンや各種会議への参加や事業所訪問、広報紙や「ひまわりホルダー」などの媒体を活用し「福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）」の周知を継続しました。今年度は相談件数も増加しました。

相談に関しては、ご本人・ご家族や地域の状況も踏まえて、「福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）」3職種のみならず地域活動交流や生活支援コーディネーターと連携し、ご本人・ご家族のニーズを把握するなど総合的に支援し、必要に応じて日常生活支援総合事業やサービス事業者、医療機関、専門機関へとつなぎました。その際、関係機関と引き継ぎや連携を図り、チームケアに結び付けることで相談者が安心して生活できるよう支援しました。

認知症・虐待・権利擁護などの相談に結びつくよう、研修会や相談会などの事業を企画、実施しました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

支援を必要な方やそのご家族などに対しては、関係機関と連携しながら成年後見制度の概要や手続きの流れを説明し、必要に応じて申し立ての手続きの支援をしました。

成年後見制度普及や地域の方に制度を理解して頂くために、平成29年度は老後応援寺子屋で質疑応答、個別相談会の時間を設け、分かりやすい研修会を企画し、実施しました。また、チラシ等の媒体を活用して地域への情報提供、啓発活動を行いました。

地域に出向いた「出前講座」や事業の際に消費者被害防止についても伝え、注意喚起しました。特に昨年度から配信された「港南区安全・安心メール」の振込詐欺などの情報提供も継続し、注意喚起を行いました。



## ② 高齢者虐待への対応

総合相談の際、適切でないケアや高齢者虐待が疑われる要素がある場合は、早期に区役所や関係機関と情報を共有し、関係者間のチームでの支援体制の構築や事実確認に努めました。積極的な介入が必要な際は、早い段階で包括職員により訪問する等チームで連携しながら対象者及び擁護者に適切な支援をしました。

虐待の疑いから早期発見する為に、出前講座などにより地域へ啓発活動を行うと共に、介護事業者へ「虐待に関する講座」を行い、日頃の観察の仕方などに活かしていただきました。

介護者が孤立しないように「さくらの会」（介護者のつどい）や「えんがわカフェ」（認知症カフェ）、「みなとみな」（若年性認知症のつどい）の開催などを紹介し、日々の感じているストレスや悩みを話し合う場の情報を提供しました。

## ③ 認知症

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の方々の認知症の理解を深め、地域で支えていけるよう「認知症サポーター養成講座」を開催しました。また、地域や企業などへの認知症に関する出前講座を積極的に実施すると共に今年度は新たに学校向けの出前講座を実施しました。

「認知症サポーター養成講座」などの啓発活動の担い手となる「キャラバンメイトの連絡会」を実施し、情報交換を行いました。また、協働で、中学校の先生に対しての認知症サポーター養成講座などを実施しました。また、「スリーA」の支援者の活動を支援しました。

地域の支援者が行う認知症カフェ「えんがわカフェ」の開催支援や若年性認知症のつどい「みなとみな」の定期開催を実施し、認知症の方やその家族、地域の方々が気軽に寄れる場を提供しました。

認知症で介護負担の大きいご家族や介護者は、「さくらの会」（介護者のつどい）などを紹介し、連携を取りながら支援しました。

「ひまわりホルダー」を推進し、地域の中での見守りの目を増やしました。

## （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

今年度も5職種と協働・連携し地域で行われる活動に出向き、地域包括支援センターの広報・周知や出前講座等での介護保険制度やケアマネジャーの役割などの周知を図りました。あわせて、見守り事業「ひまわりホルダー」の推進も継続しました。また、5職種で連携し、地域のインフォーマルサービスなどの情報を収集・整理するとともに、地域のケアマネジャーに情報を提供しました。

民生委員とケアマネジャーがより連携し、在宅で暮らす高齢者の支援ができるよう、「港南区民生委員・ケアマネジャー連絡票」の更新及び連絡票の普及についてケアマネジャーへの周知し、相談時に利用して頂けるよう推進しました。

また、民生委員とケアマネジャーの交流会を担当エリア3地区ごとに開催し、情報交換や顔の見える関係づくりの支援をしました。

地区民生委員と連携し、横浜市ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業に協力しました。

地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席し、情報交換するとともに地域の関係機関や介護サービス事業者と連携を図りました。

## ② 医療・介護の連携推進支援

地域ケアプラザ協力医とのサロン「ドクターのいるサロン」を年2回実施し、ケアマネジャーや介護サービス事業所が日常的に医療と連携できるように努めました。

また、事業所訪問を積極的に行い、情報交換などを行いました。

「港南区在宅医療相談室」と連携し、事例検討会や連携推進会議、研修会への参加・協力を通じ、医療と介護の連携の推進に取り組みました。

区内地域包括支援センターと連携し「医福ネット」に参加し、地域の医療機関とサービス事業所との連携を支援しました。また、近隣の医療機関等が実施する「連携推進会議」等へ積極的に参加し、医療機関や地域連携室等との関係を強化しました。

「ドクターのいるサロン」の実施や「港南区在宅医療相談室」との連携や医福ネットなどの支援を通じて、ケアマネジャー支援に展開できるよう努めました。

## ③ ケアマネジャー支援

港南区と区内地域包括支援センターと協働して、ケアマネジャー向け研修会を実施しました。

新任ケアマネジャー向け研修では、施設見学会・初級ケアマネ講座を実施し、現任ケアマネジャー向け研修では、ケアマネジメント研修を実施しました。

区内4ヶアプラザが共催して実施するケアマネサロンは、情報交換と学習の場としてケアマネジャーの日常業務に役立つ情報が提供できるよう企画しました。

担当域内の処遇困難ケース等については、担当ケアマネジャーとの情報を共有し、関係機関に働きかけ、カンファレンスの開催などを支援しました。

また、ケアマネジャーが気軽に相談できるように事業所訪問を実施するとともに、担当者会議開催の支援や同行訪問し、相談に積極的に対応しました。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

5職種で協働し、地域の実態把握や情報収集を行い地域課題の把握をし、地域ケア会議を2回開催しました。

地域ケア会議を通じて、個別支援の充実、参加者の資質の向上と関係機関の連携を促進しました。

## (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防支援・介護予防ケアマネジメントのサービスの必要な高齢者には、介護予防について説明し理解していただき、意欲的な生活が送れるよう自立支援に向けた介護予防・介護予防ケアマネジメント計画書を作成し、その方にあったサービスにつなげました。

介護予防支援事業者と連携し、適切な介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務について支援しました。

また当ケアプラザの自主事業、自主グループや地域のサロンなども紹介し、介護予防サービスだけでなく、インフォーマルサービスの利用をお勧めし、介護予防の必要な方が自分自身の健康は自分でも管理するという意識を自覚して日常生活を送っていただけるよう支援しました。そのためにも「日常生活支援総合事業」の周知に努めました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

身体状況に不安のある高齢者及び引きこもり傾向にある高齢者に対しては、相談等から必要に応じてチェックリストを使って状態把握をしますが、実際はチェックリストを使うより、相談の内容から介護申請をして介護サービス等に必要に応じてつなげていきました。

また当ケアプラザの自主事業、自主グループや地域のサロンなどを紹介して周知に努め、実際に参加につなげることもできました。

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

ケアプラザは、高齢者、障がい者、乳幼児等、心身の状態の弱い方も含めて、地域の様々な方が利用される施設です。快適に安全・安心して利用いただくために、建物及び空調設備・消防設備・エレベーターなどの施設設備の定期的な保守点検と職員による日常点検を行いました。不具合を発見した場合は、適切・迅速に対応しました。

また、日常及び定期清掃を実施し、館内の清潔や衛生管理に努めました。感染症予防にも注意を払い、館内入口や洗面所に手指消毒液を設置し、お客様に対して呼びかけるとともにポスター等で周知しました。

また、年間草花が絶えることがないように、植栽管理を行い、環境保全と緑化に努めました。

### (2) 効率的な運営への取組について

法人においては、複数のケアプラザを管理運営していますので、本部所管課が各ケアプラザの情報を収集し、所長会にて情報の共有や同じ課題を検討し、効率的な運営を図りました。経理面に関しても車輛やノートパソコンを一括入札し、経費節減に努めました。労務、経理などの事務処理に関しても法人本部と業務の役割分担を図りながら事務の効率化に努めました。

また、建物管理や保守に関しては、港南区生活支援センターとの複合施設のため、共同委託し、効率よく施設管理を行いました。

### (3) 苦情受付体制について

「ご意見箱」を1階ホールや2階ロビーに設置するほか、「ご意見ダイヤル」の案内を1階ホールと2階ロビーに掲示しており、ホームページでもお問い合わせのページを設けました。いつでもどなたでもご意見などをいただけるようにしました。

法人では「苦情解決規則」を定めており、それに基づき当ヶアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を設置して、ご利用の皆様からのご意見、ご要望、また苦情に対して、可能な限り、その場で解決を図る等、迅速に対応しました。

その場で解決できないものについては、公正中立の立場から、あっせん・調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備していますが、29年度は、第三者委員に諮る苦情はありませんでした。

苦情は、真摯に受け止め、原因、事実関係を明らかにし、対策を講じて再発防止に努めました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地震、火災などの災害時に速やかに対応できるよう、防災対応マニュアル、消防計画などを策定し、災害時発生時に職員が適切な対応がとれるように訓練や研修を実施しました。

避難訓練等は、「消防と近隣4施設」及び複合館として「港南区生活支援センターと合同」で実施し、それ以外にも単独で年2回実施しました。避難訓練には、日頃利用される方も適宜、参加していただき、災害発生の際に適切な対応ができるように訓練を行いました。

港南区と「特別避難場所」の協定を結び、応急備蓄物資を計画的に整備し、災害時に有効に機能するための体制づくりに努めました。担当地区内の5か所の地域防災拠点と通信訓練を実施しました。また、法人独自に物資の備蓄を行いました。

また、特別避難場所としての役割・AED使用研修やトランシーバーの使用研修を実施し、災害時やお客様などが急病になられた際に対応できるようにしました。

日中は職員が巡回を行い、夜間は館内を確認した後、機械警備を行いました。また、29年度は、2階の入り口に防犯カーテンを設置するとともに設備の保守点検や備品の管理を徹底し、ご利用いただく方の安全に努めました。

#### (5) 事故防止への取組について

緊急時（事故、急病、犯罪等の発生）に備えて、緊急時事故対応マニュアルや緊急連絡網を整備し、また、それを活かせるように職員に研修を行い、速やかに適切に対応できるようにしました。

日中は職員が巡回を行い、夜間は職員が館内を確認した後、機械警備を行いました。

介護サービスの提供においては、事故未然防止のため、ミーティングや会議にて、お客様の情報を共有しました。事故が発生した場合は、再発防止に向けて、迅速に状況分析や原因突明を行い、対策を検討し、改善を実施しました。ミーティングや全体会議にて報告・共有し職員全員に周知徹底しました。また、事例に基づいた実践的な事故防止の研修を実施しました。

法人本部のサービス向上委員会で、法人すべての事業所での事故などの事例を検証し、法人所長会で、他事業所の事故事例・事故の傾向や対策を周知し、危機管理意識を高めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の「個人情報保護規程」の定めにより、個人情報の管理に関する責任者、担当者を含め、管理体制と責任体制を明確にしています。

個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員の必修研修として実施しました。また、個人情報に対して、緊張感を持って取り扱うことを認識し、紛失や漏洩がないように、個人情報取り扱いチェックや自己の振り返りを職員全員が行いました。

実際の取り扱いについては、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管し、業務上持ち出しが必要な場合には、紛失や漏洩がないよう最小限の情報のみとし、専用バックにて携帯しました。

個人情報漏洩防止のため、郵便物の発送や FAX 送信などの際には、必ずダブルチェックを行い、FAX 送信の際は氏名等にマスキングをして対応しました。

USBメモリーの使用も最低限とし、センターサーバーにより、管理しました。

(7) 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、法人にて「情報公開規程」を定め、情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めています。29年度は、情報開示の申し出はありませんでした。

また、当ケアプラザの各種事業に関する情報などを、ホームページにて、幅広い多くの市民の方が、いつでも閲覧できるようにしました。

(8) 人権啓発への取組について

人権の尊重は、福祉職として一番守るべき大切なことです。職員は地域の方々やお客様の人権を尊重し、皆様が心豊かな生活がおくれるように支援しました。

法人本部や所内において「人権研修」を実施し、あらためて、自分たちの活動を振り返り、人権についての理解を深めました。

また、人権尊重の理念を多くの方に理解していただくために、「人権デー」や「人権週間」のポスターなどの館内掲示や、事業などの際に啓発に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策・ゴミの減量化など良好な環境維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用など資源の有効活用を行い、資源ごみの徹底した分別収集に協力しました。

特に電力の消費については、使用していない部屋等の消灯、パソコンや複写機等の電源を落とすなど節電を徹底しました。また、節水こまを使用しての節水に努めました。

ケアプラザ敷地内の植栽の維持・管理を通し、緑化の推進に取り組み、環境保全に協力します。緑のカーテンを作り、夏場の省エネ対策を実施しました。

電力がピークを迎える夏季は、適切な軽装による執務を心がけるとともに、扇風機等を使用し体感温度を下げるように努めました。また冬季についても、窓等の無駄な開閉をしないなどお客様にも協力を呼びかけました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》平成30年3月31日現在

管理者 保健師 2名（常勤兼務）  
社会福祉士 1名（常勤兼務）  
主任ケアマネジャー 2名（常勤兼務）  
予防プランナー 3名（非常勤専任1名、非常勤兼務2名）

《目標》

- （ア）ケアプラン作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が継続して住み慣れた地域で在宅生活を送れる様に、またご本人らしく自立した日常生活を営むことができることを目指しました。
- （イ）適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、様々な事業者から、総合的に効率的に提供されるように、公正中立な立場で、ケアプランを作成するとともにサービス事業所等との連絡調整を行いました。
- （ウ）事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合には、以下の実費を頂きます。

① 公共交通機関を利用の場合 公共交通機関の運賃分

29年度は、実費負担していただいた実績は、ありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

より質の高い援助ができるよう、定期的に会議を開催し、支援方法の検討や情報共有を行いました。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
261	265	263	272	271	267
10月	11月	12月	1月	2月	3月
273	273	268	273	268	267

●居宅介護支援事業

《職員体制》平成 30 年 3 月 31 日現在

管理者・主任介護支援専門員 1 名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 5 名（常勤専従 3 名、非常勤兼務 2 名）

《目標》

- （ア）ケアプラン作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境に応じて、お客様が継続して住み慣れた地域で生活が送れるように、またご本人らしく自立した日常生活を営むことができることを目指しました。
- （イ）適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、様々な事業者から、総合的に効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、ケアプランを作成するとともにサービス事業所等との連絡調整を行いました。
- （ウ）事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域包括支援センター、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- （エ）緊急時、24 時間連絡が可能な体制を確保しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合には、以下の実費を頂きます。

- ① 公共交通機関を利用の場合公共交通機関の運賃分  
 29 年度は、実費負担していただいた実績は、ありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR 等）》

- （ア）お客様が住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるように、またご本人らしい自立した日常生活を営むことができるように、地域とのつながりを大切にしたインフォーマルなサービスを含めたプランを作成しました。
- （イ）介護保険の認定調査や更新申請の代行も行いました。

《利用者目標》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
173	173	174	175	176	177
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
180	177	177	174	178	180

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| ● 通所介護計画書等の作成         | ● 生活相談（相談援助等） |
| ● 機能訓練（日常動作訓練、生活機能向上） | ● 健康状態の確認     |
| ● 介護サービス              | ● 送迎          |
| ● 入浴                  | ● レクリエーション    |
| ● 食事                  |               |

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 割負担分

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ●（要介護1）          | 692円   |
| （要介護2）           | 817円   |
| （要介護3）           | 947円   |
| （要介護4）           | 1,077円 |
| （要介護5）           | 1,206円 |
| ●食費負担            | 700円   |
| ●入浴加算            | 54円    |
| ●中重度者ケア体制加算      | 49円    |
| ●送迎減算（片道）        | ▲51円   |
| ●サービス提供体制強化加算（1） | 13円    |
| ●介護職員処遇改善加算I     |        |

1ヵ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金が加算されます。

※キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費500円をいただきます。）

《事業実施日数》 週 7日（年末12月29日から年始1月3日までお休み）

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》 平成30年3月31日現在

管理者	1名（常勤兼務	1名）
生活相談員	4名（常勤兼務	4名）
看護職員	9名（非常勤兼務	9名）
介護職員	34名（常勤兼務6名	非常勤兼務28名）
機能訓練指導員	9名（非常勤兼務	9名）
調理員	7名（非常勤兼務	7名）
ドライバー	8名（非常勤兼務	8名）

《目標》

- (ア) お客様が継続して住み慣れた地域で在宅生活を送れる様に、またご家族の介護負担軽減を図るために、お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえて入浴、食事、排泄などの介護を行いました。また、レクリエーションや機能訓練等を通して心身の活性や現在の機能の維持向上を図り、ご本人らしく自立した日常生活が過ごせるように支援しました。
- (イ) お客様の意思を尊重し、関係機関との連携を図り、お客様の心身の特性や持てる力に応じた通所介護計画書を作成しました。
- (ウ) 通所介護計画書を基に、要介護状態の軽減や悪化の防止に配慮して通所介護サービスを提供しました。



(エ) お客様にとって「ご自分らしく楽しく過ごせ、意義あるデイサービス」を提供できるように職員の資質向上を図るための研修や業務体制を整備しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(ア) 地域のボランティアのご協力を得て、曜日ごとのサークル活動の充実を図りました。実習生やボランティアの受け入れを積極的に行い、地域との交流を図り、開かれたデイサービスに努めました。

(イ) 厨房スタッフが、心を込めて調理した温かい家庭料理やおやつを提供しました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
803	800	786	841	816	840
10月	11月	12月	1月	2月	3月
856	848	770	739	755	854

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護計画書等の作成
- 機能訓練（日常動作訓練・生活機能向上）
- 介護サービス
- 入浴
- 食事
- 生活相談（相談援助等）
- 健康状態の確認
- 送迎
- レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割負担分

- （要支援1） 1,766円  
（要支援2） 3,621円  
但し、横浜市通所介護相当サービス（独自）のみ、要支援2の方で週1回程度ご利用の方は、1,766円
- 食費負担 700円
- サービス提供体制強化加算（1）口  
（要支援1） 52円  
（要支援2） 103円  
但し、横浜市通所介護相当サービス（独自）のみ、要支援2の方で週1回程度ご利用の方は、52円
- 介護職員処遇改善加算I  
1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金が加算されます。

※キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合は、食材料費500円をいただきました。）

《事業実施日数》 週 7日（年末12月29日から年始1月1割負担分）

《提供時間》 9:30 ～ 16:35

《職員体制》平成30年3月31日現在

管理者	1名（常勤兼務	1名）
生活相談員	4名（常勤兼務	4名）
看護職員	9名（非常勤兼務	9名）
介護職員	34名（常勤兼務6名	非常勤兼務28名）
機能訓練指導員	9名（非常勤兼務	9名）
調理員	7名（非常勤兼務	7名）
ドライバー	8名（非常勤兼務	8名）

《目標》

- （ア）お客様がいつまでも、住み慣れた地域で在宅生活を送れる様に、また、ご家族の介護負担軽減を図るために、お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえて入浴、食事、排せつなど自立を促す支援を行いました。また、レクリエーションや交流、機能訓練等を通して心身の活性や現在の機能の維持向上を図り、ご本人らしく自立した日常生活が過ごせるように支援しました。
- （イ）お客様の意思を尊重し、関係機関との連携を図り、お客様の心身の特性や持てる力に応じた第一号通所サービス計画書を作成しました。
- （ウ）第一号通所サービス計画書を基に、要支援状態の軽減や悪化防止に配慮して、現在の機能が維持できるよう、第一号通所サービスを提供しました。
- （エ）お客様にとって「ご自分らしく楽しく過ごせ、意義あるデイサービス」を提供できるように職員の資質向上を図るための研修を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (ア) 将棋、囲碁、麻雀、書道、手芸、絵手紙などのレクリエーションは、ご自分で選択し、参加して頂きました。
- (イ) 楽しみながら身体を動かし、訓練用具を使用した機能訓練を実施しました。
- (ウ) 地域のボランティアのご協力を得て、曜日ごとのサークル活動を充実させ、お客様同士の交流を促進し、地域に開かれたデイサービスに努めました。
- (エ) 実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域の方々との交流を図りました。
- (オ) 厨房スタッフが、心を込めて調理した温かい家庭料理やおやつを提供しました。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
14	16	18	15	17	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	14	15	14	14

● 認知症対応通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ・ 認知症対応型通所介護計画書等の作成
- ・ 機能訓練（日常動作訓練）
- ・ 個別機能訓練
- ・ 送迎
- ・ レクリエーション
- ・ 生活相談（相談援助等）
- ・ 健康状態の確認
- ・ 介護サービス
- ・ 入浴
- ・ 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割負担分

- (ア) (要介護1) 1,072円
- (ア) (要介護2) 1,188円
- (ア) (要介護3) 1,305円
- (ア) (要介護4) 1,422円
- (ア) (要介護5) 1,539円
- (イ) 食費負担 700円
- (ウ) 入浴加算 55円
- (エ) 個別機能訓練加算 30円
- (オ) 送迎減算（片道）▲52円
- (カ) サービス提供体制強化加算（1）イ 20円
- (キ) 介護職員処遇改善加算I

1ヵ月のご利用単位数の1000分の104に相当する料金が加算されます。

※キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合は、食材料費500円をいただきました。）

《事業実施日数》週 7日（年末12月29日から年始1月3日までお休み）

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》 平成30年3月31日現在

- 管理者 1名（常勤兼務1名）
- 生活相談員 5名（常勤兼務5名）
- 看護職員 9名（非常勤兼務9名）
- 介護職員 18名（常勤兼務6名 非常勤兼務12名）
- 機能訓練指導員 9名（非常勤兼務9名）
- 調理員 7名（非常勤兼務7名）
- ドライバー 8名（非常勤兼務8名）

《目標》

- (ア) お客様が継続して住み慣れた地域で在宅生活を送れる様に、またご家族の介護負担軽減を図るために、お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえて入浴、食事、排泄などの介護を行いました。また、個々に合わせたレクリエーションや機能訓練等を通して心身の活性を図り、認知機能の低下を予防し、ご本人らしい、いきいきとした日常生活が過ごせるように支援しました。
- (イ) お客様やご家族の意思を尊重し、関係機関との連携を図り、お客様の心身の特性や持てる力に応じた認知症対応型通所介護計画書を作成しました。
- (ウ) 認知症対応型通所介護計画書を基に、要介護状態の維持、もしくは改善を図り、自立した日常生活を営むことができるように認知症対応型通所介護サービスを提供しました。
- (エ) 「お客様がいつも笑顔で、ご自分らしくいきいきと過ごせ、ご家族が安心していただけるデイサービス」を提供できるように職員の資質向上を図るための研修を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

（ア）地域のボランティアのご協力を得て、社会参加の機会をもちました。実習生やボランティアの受け入れを積極的に行い、地域との交流を図り、開かれたデイサービスに努めました。

（イ）厨房スタッフが、心を込めて調理した温かい家庭料理やおやつを提供しました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
202	212	208	201	188	180
10月	11月	12月	1月	2月	3月
180	170	162	168	185	185

平成29年度「横浜市港南中央地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,174,208	3,568,753	18,742,961	18,742,961	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	463,515	△ 463,515	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	257,221	△ 257,221	
印刷代	0		0	80,980	△ 80,980	
自動販売機手数料	0		0	172,791	△ 172,791	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	3,450	△ 3,450	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	4,180,261		4,180,261	4,180,261	0	
収入合計	23,344,469	3,568,753	26,913,222	27,633,958	△ 720,736	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,813,315	172,112	
本俸	7,912,515		7,912,515	8,178,190	△ 265,675	
社会保険料	1,187,445		1,187,445	1,382,658	△ 195,213	
手当計	2,003,516		2,003,516	1,868,006	135,510	
健康診断費	57,644		57,644	54,124	3,520	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	この列は入力しない
退職給付引当金繰入額	486,113		486,113	317,063	169,050	
その他	338,194		338,194	13,274	324,920	
事務費	1,030,000	356,400	1,386,400	2,548,533	△ 1,162,133	
旅費	7,985		7,985	18,239	△ 10,254	
消耗品費	209,180		209,180	257,207	△ 48,027	
会議明い費	0		0	0	0	
印刷製本費	185,301		185,301	198,343	△ 13,042	
通信費	275,758		275,758	279,407	△ 3,649	
使用料及び賃借料	0	0	0	90,108	△ 90,108	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	90,108	△ 90,108	
備品購入費	30,000		30,000	245,200	△ 215,200	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	13,140	△ 13,140	
職員等研修費	1,250		1,250	4,897	△ 3,647	
振込手数料	51,573		51,573	52,422	△ 849	
リース料	146,892		146,892	52,605	94,287	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	6,500		6,500	0	6,500	
その他	115,561	356,400	471,961	1,336,965	△ 865,004	
事業費	1,892,000	0	1,892,000	722,937	1,169,063	
運営協議会経費	42,000		42,000	16,407	25,593	予算・指定額
指定管理料充当 事業	1,850,000		1,850,000	706,530	1,143,470	
管理費	7,478,208	3,550,390	11,028,598	10,975,938	52,660	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	4,921,712	0	4,921,712	5,662,561	△ 740,849	
電気料金				1,277,120		
ガス料金				1,327,263		
水道料金				3,058,178		
清掃費	482,390		482,390	596,556	△ 114,166	
修繕費	474,000	3,550,390	4,024,390	3,686,353	338,037	予算・指定額
機械整備費	100,290		100,290	100,296	△ 6	
設備保全費	1,181,783	0	1,181,783	821,954	359,829	
空調衛生設備保守	320,815		320,815	0	320,815	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	81,006		81,006	81,005	1	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	779,962		779,962	740,949	39,013	
共益費	0		0	0	0	
その他	318,033		318,033	108,218	209,815	
公租公課	958,834	0	958,834	945,065	13,769	
事業所税				0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	945,065	13,769	
印紙税				0	0	この列は入力しない
その他 ( )				0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分				0	0	この列は入力しない
当該施設分				0	0	この列は入力しない
二一対対応費				0	0	この列は入力しない
支出合計	23,344,469	3,906,790	27,251,259	27,005,788	245,471	
差引	0	△ 338,037	△ 338,037	628,170	△ 966,207	

自主事業費収入	1,850,000		1,850,000	0	1,850,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	1,850,000		1,850,000	706,530	1,143,470	
自主事業収支	0	0	0	△ 706,530	706,530	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	172,791	△ 172,791	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払分)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	172,791	△ 172,791	

平成29年度「横浜市港南中央地域ケアプラザ」  
 収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	34,501,000	△ 169,928	34,331,072	34,331,072	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 243,860	5,545,140	5,545,140	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	239,850	△ 239,850	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	267,578	△ 267,578	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	70,578	△ 70,578	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	197,000	△ 197,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,180,293		3,180,293	3,180,293	0	
収入合計	43,621,293	△ 413,788	43,207,505	43,714,933	△ 507,428	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,436,293	0	38,436,293	38,796,348	△ 360,055	
本俸	21,012,000		21,012,000	20,540,910	471,090	
社会保険料	5,415,873		5,415,873	5,117,429	298,444	
手当計	11,288,809		11,288,809	12,295,235	△ 1,006,426	
健康診断費	67,657		67,657	44,271	23,386	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	586,688		586,688	750,938	△ 164,250	
その他	65,266		65,266	47,565	17,701	
事務費	590,000	0	590,000	2,200,719	△ 1,610,719	
旅費	29,842		29,842	56,633	△ 26,791	
消耗品費	13,615		13,615	164,712	△ 151,097	
会議購い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	198,343	△ 198,343	
通信費	378,703		378,703	371,186	7,517	
使用料及び賃借料	0	0	0	1,152	△ 1,152	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	1,152	△ 1,152	
備品購入費	30,000		30,000	54,328	△ 24,328	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	14,292		14,292	13,140	1,152	
職員等研修費	1,251		1,251	121,194	△ 119,943	
振込手数料	51,576		51,576	52,854	△ 1,278	
リース料	44,719		44,719	52,605	△ 7,886	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	26,002		26,002	0	26,002	
その他	0		0	1,114,572	△ 1,114,572	
事業費	2,600,000	0	2,600,000	1,312,868	1,287,132	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料当自主事業(包括)	1,510,000		1,510,000	428,446	1,081,554	
指定管理料当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	156,845	△ 5,845	予算:指定額
指定管理料当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	223,577	85,423	予算:指定額
管理費	1,995,000	0	1,995,000	2,019,803	△ 24,803	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,308,302	0	1,308,302	1,505,237	△ 196,935	
電気料金				339,487		
ガス料金				352,817		
水道料金				812,933		
清掃費	128,229		128,229	158,577	△ 30,348	
修繕費	126,000		126,000	82,072	43,928	予算:指定額
機械警備費	26,658		26,658	26,660	△ 2	
設備保全費	314,137	0	314,137	218,491	95,646	
空調衛生設備保守	85,279		85,279	0	85,279	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	21,531		21,531	21,531	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	207,327		207,327	196,960	10,367	
共益費	0		0	0	0	
その他	91,674		91,674	28,766	62,908	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税				0	0	
消費税				0	0	
印紙税				0	0	
その他( )				0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分				0	0	
当該施設分				0	0	
二一ズ対応費				0	0	
支出合計	43,621,293	0	43,621,293	44,329,738	△ 708,445	
差引		△ 413,788	△ 413,788	△ 614,805	201,017	

自主事業費収入	1,970,000			239,850		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,970,000			808,868		
自主事業収支	0			△ 569,018		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			70,578		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			70,578		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書〈介護保険事業分〉

施設名：横浜市港南中央地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：千円)

収入	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
	介護保険収入	6,337	35,074	86,758	4,529	30,357
	その他	9,933	428	24,225	574	6,877
	介護予防ケアマネジメント 費	9,578				
	事業・負担金収入		428			
	認定調査					
	その他					
	その他	355		24,225	574	6,877
	<b>収入合計(A)</b>	16,270	35,502	110,983	5,103	37,234
	人件費	3,996	27,408	78,693		25,422
	事務費	10,959	2,370	6,319		2,433
	事業費	0	78	9,030		3,081
	管理費	0	0	10,017		2,562
	その他	0	0	9,559	0	243
	利用者負担軽減額					97
	消費税					
	介護予防プラン委託料					
				411		146
				9,148		
	その他					
	<b>支出合計(B)</b>	14,955	29,856	113,618	0	33,741
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>1,315</b>	<b>5,646</b>	<b>(2,635)</b>	<b>5,103</b>	<b>3,493</b>



# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 横浜市港南中央地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
赤ちゃん教室	はじめての子の親子	0	地活						
			包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
おはなしの風	未就園親子	0	地活						
			包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
どれみの森のお友達 1歳児どんぐり	1歳児親子	164,844	地活	42,844					
	20組×2回		包括						
	400円		生活		122,000	0	133,644	20,000	11,200
どれみの森のお友達 2・3歳児くれよん	2・3歳児親子	82,422	地活	28,022					
	20組		包括						
	400円		生活		54,400	0	66,822	10,000	5,600
ママのしゃべり場 こどもの遊び場	未就園親子	10,000	地活	10,000					
			包括						
	無		生活		0	0	10,000	0	0
チャオチャオくらぶ	2歳以上親子	40,680	地活	26,280					
	30組		包括						
	400円		生活		14,400	0	36,000	3,000	1,680
ゆらりんころりん	1歳以下の親子	63,360	地活	25,740					
	35組		包括						
	330円		生活		37,620	0	60,000	0	3,360
カンガルーヨーガ	0歳以下の親子	26,728	地活	11,128					
	20組		包括						
	400円		生活		15,600	0	26,728	0	0
パパも遊ぼう	3歳～小学低学年と父親	5,754	地活	3,754					
	15組		包括						
	200円		生活		2,000	0	2,000	3,754	0
おまつりひろば	地域	0	地活						
			包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
オレンジリボンたすきリレー 応援企画	地域	6,780	地活						
			包括						
	無		生活		0	6,780	0	6,780	0
お楽しみクリスマス会	1～3歳児親子	17,658	地活	7,758					
	30人		包括						
	300円		生活		9,900	0	15,000	1,818	840
大人のための 絵本タイム	地域	0	地活						
			包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
はじめての囲碁教室	小学生と高齢者	20,000	地活	20,000					
	12組		包括						
	無		生活		0	0	20,000	0	0
囲碁クラブ	小学生と高齢者	0	地活						
	12組		包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
心の健康教室	地域	0	地活						
	30人		包括						
	無		生活		0	0	0	0	0
たのしい 押し花アート	高齢者	15,000	地活	15,000					
	12人		包括						
	無		生活		0	0	15,000	0	0

## 平成29年度 自主事業収支報告書

シルバーフラダンス	高齢者		地活	411					
	40人		包括						
	250円	95,661	生活		95,250	0	66,822	17,079	11,760
セカンドライフ港南中央	55歳以上の男性		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
男性のための歌声喫茶	55歳以上の男性		地活	1,158					
	40人×4回		包括						
	200円	36,358	生活		35,200	0	20,000	16,358	0
セカンドライフ大学校	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
そよかぜふれあいまつり	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
あおぞら交流会	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
夏祭り(世代間交流) 盆踊り大会	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
ひまわりフェスタ	地域		地活						
			包括						
	無	26,415	生活		0	26,415	0	26,415	0
港南区 ボランティア フェスティバル	ボランティア		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
年末大掃除	ボランティア		地活	1,820					
			包括						
	無	1,820	生活		0	0	0	1,820	0
港南ネットまつり	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
個人・団体ボランティア交流会	ボランティア		地活	22,801					
			包括						
	無	24,601	生活		0	1,800	0	24,601	0
登録団体交流会	ボランティア		地活	1,492					
			包括						
	無	1,492	生活		0	0	0	1,492	0
ミニギャラリー	個人・団体		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
発達障害を理解する	地域		地活	11,137					
	30人		包括						
	無料	11,137	生活		0	0	11,137	0	0
お楽しみ演芸会	地域		地活	1,500					
	40人		包括						
	100円	5,000	生活		3,500	0	5,000	0	0
ママといっしょ 歌って遊んでスキンシップ	0歳児親子		地活	3,168					
	20組		包括						
	200円	5,568	生活		2,400	0	5,568	0	0
環境絵日記展	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 包括・地域活動交流共催事業

五楽会	高齢者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
若草会	高齢者		地活	9,002					
			包括	9,002					
	100円 400円	90,504	生活		72,500	0	30,000	52,944	7,560
ボランティアスタート講座	地域 30人×4回		地活						
			包括	16,137					
	無	16,137	生活		0	0	16,137	0	0
ボランティアスタート フォローアップ講座	地域 25×2回			10,120					
	無	10,120			0		9,000	0	1,120
出前講座	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
ささげひまわりサロン	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
見守り事業 ひまわりホルダー	高齢者		地活						
			包括	8,960					
	300円	61,560	生活		52,600			61,560	
虹の会	各回30人程度		地活						
	1・3・5週 ¥50×30人×27回		包括	110,470					
	2・4週 ¥150×30人×24回	199,820	生活		89,350		163,700	0	36,120

## 包括支援センター事業

福祉用具の展示	地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
やよい会	高齢者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
介護者の集いぐらの会	介護者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
お達者クラブ	高齢者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
あすなろ会	高齢者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
オーブ音楽会	高齢者		地活						
	40人程度		包括	44,744					
	150円	85,694	生活		40,950	0	85,694	0	0
物作りサロン ひだまり	高齢者		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
それいけ倶楽部	ボランティア・地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0
元気玉の会	ボランティア・地域		地活						
			包括						
	無	0	生活		0	0	0	0	0

## 平成29年度 自主事業収支報告書

クラブ・コットン	ボランティア・地域	0	地活	0	0	0	0	0	
			包括						
	無		生活						
権利擁護啓発講座 老後応援寺子屋	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	35人		包括						
	無		生活						
介護予防講座 パワースポット巖南中央	高齢者	52,290	地活	0	0	46,410	0	5,880	
	30人×6回=180人		包括						52,290
	無		生活						
くすの木の会	ボランティア・地域	0	地活	0	0	0	0	0	
			包括						
	無		生活						
精神保健福祉出前講座	地域・介護保険事業者	0	地活	0	0	0	0	0	
	40人×3回		包括						
	無		生活						
認知症サポーター養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
	35人		包括						
	無		生活						
ニコニコクラブ	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
			包括						
	無		生活						
笑輪ん会	高齢者	36,120	地活	20,700	0	0	0	36,120	
	30人程度		包括						15,420
	50円		生活						
ロコモ予防講座	高齢者	49,200	地活	0	0	45,000	0	4,200	
	30人程度		包括						49,200
	無		生活						
春一番コンサート	高齢者	7,138	地活	0	0	5,000	0	2,138	
	30人程度		包括						7,138
	無		生活						
ウォーキング講座	高齢者	21,960	地活	0	0	13,000	0	8,960	
	30人程度		包括						21,960
	無		生活						
えんがわカフェ	地域	0	地活	0	0	0	0	0	
			包括						
	無		生活						
若年性認知症の つどい みなとみな	65歳未満に認知症発症の方	0	地活	0	0	0	0	0	
			包括						
	無		生活						

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市港南中央地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
赤ちゃん教室	区こども家庭支援担当との共催事業。はじめての育児で不安を抱える養育者が、育児相談・親子遊び・仲間作りなどを通して不安を解消する場を提供しました。	1月を除く毎月第2水曜日 (11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしの風	0歳～未就園児の親と子の居場所として開催。市民グループによる絵本の読み聞かせと手遊びが中心に行いました。	毎月第1・3金曜日 (23回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友達(1歳児どらんど)	子育て支援。音楽遊びを軸に、はじめて体験する集団の中で、親子で楽しく過ごせる場を通年で提供しました。	10回×2クラス(20回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友達(2・3歳児くれよん)	子育て支援。音楽遊びを中心に親子で楽しく過ごせる場として通年で開催しました。	10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ママのしゃべり場・こどもの遊び場	赤ちゃん教室の卒業生や第2子以上を持つ親も参加できる場として開催しました。0歳から参加できる親子の居場所として、毎月子育て支援者を招いて開催しました。地域の民生委員児童委員にも協力していただきました。	毎月第1水曜 10回(5・1月除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャオチャオくらぶ	2歳児以上の子と親の交流として開催しました。子育て支援者の指導で親子で工作を行ったあと、同室で母子分離し、母親たちが子育てについてのグループトークを行いました。	6～7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆらりんころりん	0～1才児の親と子の交流の場として、子育て支援グループによるパラバルーンなどダイナミックな親子遊びや人形劇などを行いました。	4・7・10・1月 4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カンガルーヨガ	0歳児と母親向けに開催し、ヨガで母親の出産後の健康づくりと赤ちゃんとのふれあいを深めることができました。また、グループで話をする場所を設け、母親同士の交流を行いました。	6・9・12・3月 4回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパも遊ぼう	父子でパンを一緒に作ることでつながりを深めると共に、父親同士の子育てについてグループトークを行うことで情報交換・交流を行いました。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おまつりひろば	子育て支援。地域の子育て支援グループとの共催で、小さな子が夏に外出できる場として提供した。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オレンジリボンたすきリレー応援企画	子ども虐待防止運動「オレンジリボン運動」を周知するために開催しました。おもちゃ病院・子ども服交換会・綿菓子などのブースを開き、集まった方々と一緒にオレンジリボンたすきリレーの応援を行いました。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お楽しみクリスマス会	幼児向け季節のイベントととして開催しました。職員もサンタクロースに扮して手作りプレゼントを配りました。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のための絵本たいむ	子育て支援グループとの共催で多世代で絵本の読み聞かせやお話などを楽しみました。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめての囲碁教室	地域のボランティアの指導で囲碁を通じて、小学生と高齢者が世代間交流を行いました。卒業生がたちあげたグループのメンバーがボランティアとして指導に参加するようになりました。	上期 10回 下期 10回 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ	囲碁教室の卒業生や地域の囲碁好きな方が自由に囲碁で交流できる場として開催し、メンバーは自主的に運営をしました。	毎月第2・4土曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
心の健康教室	心の健康教室実行委員会との共催事業として開催しました。参加者は講座とロールプレイなど実技を行うことで、周りの人とのコミュニケーションについて学びました。	8・12月を除く 10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たのしい押花アート	押し花製作を通じて、高齢者の外出と交流の支援を行いました。	前期 5回 後期 5回 最終土曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーフラダンス	高齢者の外出支援の場としてどなたも楽しみながら参加されました。年間を通じて出席率がよく、皆勤の方が11名いました。	毎月第3月曜日 12回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフ 港南中央	ふれあい公園の花壇づくりをはじめ、ケアプラザ自主事業の歌声喫茶の運営・祭りなどに積極的に参加されました。	毎月第3月曜日（夏場は第1月曜も開催）定例会
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための歌声喫茶	ボランティアグループ「セカンドライフ港南中央」が中心となって開催し、多くの男性が参加されました。	5・8・11・2月 最終日曜日 4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフ 大濠校	区、区社協と区下9ケアプラザとの共催事業。男性の地域活動のきっかけとなるためにさまざまな講座を展開し、居住地域別にグループ化を行いました。	9月～1月 6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
そよかぜふれあい まつり	実行委員会の一員として開催。近隣施設とも連携し、地域との交流をしたり、ボランティアとのつながりを持ちました。デイサービス利用者の発表を行いました。	5月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら交流会	5施設協働事業。近隣施設の利用者と職員との交流の場として開催しました。共に企画した運動会やおやつタイムなどでふれあいのひとときを過ごしました。	10月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏祭り(世代間交流) 盆踊り大会	ボランティアグループと一緒に模擬店の出店をすることで、地域の方々と交流しました。	8月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわりフェスタ	地域との交流の場の提供。模擬店、バザーや展示を行いました。今年はボランティア講座修了者も活動していただきました。	11月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南区ボランティアフェスティバル	ケアプラザとボランティアグループの活動紹介をパネル展示などで行いました。	11月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末大掃除	ケアプラザで活動するボランティアグループと貸室登録団体と一緒に大掃除を行いました。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
個人・団体ボランティア交流会	ケアプラザの各事業で活躍している個人・団体のボランティアに向け、ケアプラザの紹介を行ったあと、相互の活動紹介、ケアプラザへのご意見などについての話し合いを行いました。	1月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南ネットまつり	港南区生活支援センターとの共催でブース展示や発表などで精神保健福祉に関わる施設との交流しました。	1月 1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体交流会	ケアプラザについて説明すると共に、登録団体の情報交換や交流の場として開催しました。	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニギャラリー	地域・登録団体・個人の作品発表の場として提供しました。	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
発達障害を理解する	スクールカウンセラーから発達障害についての新しい情報を地域の方やキッズスタッフ、当事者に提供し、理解を深めることができました。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お楽しみ演芸会	昨年から実施している敬老イベント。地域の方に向け、広報誌等で周知し、多くの方に参加していただきました。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママといっしょ歌って遊んでスキニシップ	0歳児と親のための講座。外出支援として企画し、講座の中では子育ての悩みをテーマに話したり、母親同士の交流の時間を持ちました。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記展	夏休みの宿題として出された環境絵日記の中で、吉原小学校の1・3年生のものを展示しました。ケアプラザ利用者が鑑賞していました。	3月 1～31日

## 包括・地域活動交流共催事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ささげひまわりサロン	笹下地区民生委員との共催事業として開催しました。年間を通じて、様々なテーマや軽食が提供され、リピートされる方も多くいらっしゃいました。乳幼児・小学生親子の参加もあり、異世代交流も行われました。	毎月原則第3土曜日 年11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
五楽会	地域の方との顔の見える関係づくり。他ケアプラザとの協働支援。毎月25日に地域包括支援センター・地域活動交流担当が交代で参加し、情報交換や相談に対応しました。	毎月5日・25日 年12回（毎月25日に参加）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若草会	「歌と食事会」をはじめ、様々な講演やレクリエーションを企画し、自立している高齢者の居場所として年間を通して多くの方に参加いただきました。	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虹の会	転倒予防などの体操を行い、地域の方の健康増進を図ることを目的に行いました。 第1・3・5週目はボランティア講師、第2・4週目は外部講師に依頼しました。	毎週火曜日 年51回



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア スタート講座	これからボランティア活動したいと思っている方、現在ボランティア活動をしていても日が浅い方、スキルアップをしたい方等の学習の場として行いました。 また、ボランティア活動をとおして参加者自身の介護予防につなげられるようにしました。	7月・8月 4回
ボランティアス タート フォローアップ 講座	ボランティアスタート講座修了された方々に向けて、フォローアップを目的とした講座（包丁研ぎ 風呂敷・紐の活用術）を行いました。	2月・3月 2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	地域からの依頼に応じて地域に出向いて介護保険・介護予防・権利擁護等に関する啓発活動を行いました。	依頼に応じて実施 39回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守り事業 「ひまわりホル ダー」	見守り事業。「ひまわりホルダー」を通して、65歳以上の一人暮らしの方や認知症のある方などが、外出先で倒れた際や緊急搬送された時、徘徊時保護された時に、ケアラザが緊急連絡先やかかりつけ医などを結びつけます。	随時

## 包括支援センター事業

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具の展示	地域向けの福祉用具の展示。カタログでは分からない、大きさや使用した感覚を体験していただくことを目的にします。 実物を使つての福祉機器の説明・パンフレット等を常設します。地域の方への貸出用車椅子を用意し、介護保険サービス導入前など臨時的使用ができるようにします。	常時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やよい会	体操と歌・俳句・絵画などの趣味を併せた会として、参加者の介護予防をはじめ、地域の活動の場・外出先の提供も行いました。	毎週金曜日 年51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い 「さくらの会」	現在介護をされている方や介護をされていた方などを対象に、お互いを支え合い・くつろぎ・気持ちが楽になり共倒れしない介護を目指すため、懇親会・施設見学・勉強会等、年間計画を立てて行いました。	毎月第3木曜日 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お達者クラブ	88歳以上の方のサロンで、お互い話し手聞き手になりながら、ボランティアさんも交えて楽しく活動を行いました。	毎月第2・4水曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あすなろ会	献立づくり・買い物・調理・会食・片付けと料理を通して、参加者の介護予防をはじめ、地域の活動の場・外出先の提供も行いました。	毎月第3木曜日 年11回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
それいけ倶楽部	寸劇のボランティアグループで、介護保険制度・認知症など依頼に応じて職員と共に地域に出向き、わかりやすい寸劇で理解していただけるように行いました。	定例会 毎月第1水曜日 年14回 出前講座等 随時
事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気玉の会	体操・レクリエーション等のボランティアグループで、定例会時にメンバー同士でスキルアップの勉強会を実施したり、ケアプラザ事業や講座時には受付・会場設営の補助、依頼によっては講師など、幅広く活動を行いました。	定例会 毎月第2木曜日 年12回 講師・出前講座等 随時
事業名	目的・内容	実施時期・回数
クラブ・コットン	手芸を通じたボランティアグループで、ケアプラザ・デイサービスなどで使用する小物や作品づくりを行いました。	定例会 毎月第3火曜日 年10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
オリーブ音楽会	発声に始まり皆で歌を唄いながら音楽を通して口腔機能低下を意識し、日頃の練習成果を年2回デイサービスで披露することも行いました。	毎月第4月曜日 年12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
物作りサロン ひだまり	折り紙を主とした簡単な小物づくりを通じて、居場所づくり・仲間づくりを行いました。	毎月第4金曜日 年11回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護啓発講座 老後応援寺小屋	地域の方に成年後見制度などの「権利擁護」について、理解を深め、身近なものに感じていただくことを目的に実施します。専門家を講師に迎え、講座を実施します。事例も含めての講義とします。	下半期・1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座 パワースポット 港南中央	いつまでも地域で元気に暮らしていくために、健康づくり・介護予防を目的に行いました。	3コース各2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
くすの木の家	認知症になっても暮らしていける地域づくりを目指して、認知症の理解を深めていただくよう認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトとして実施します。また、「えんがわカフェ」(認知症カフェ)を運営します。	毎月第1月曜日 年12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神保健福祉出前講座	港南区生活支援センターと共催。「身近な精神疾患」について理解し支援について考える機会とします。地域の住民及び介護保険事業者等の専門職等の勉強の場として実施します。	2回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症になっても地域で安心して暮らせるまちをつくるために、認知症の人と家族を見守る「認知症サポーター」の養成を行いました。	CP主催 年1回 その他随時
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコクラブ	毎月テーマを決めて活発な心と体づくり・維持を目標に様々なことに取り組み行うことができました。	毎月第1木曜日 年11回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑輪ん会	1・3週目はボランティア講師によるゆるやかな体操を、2・4週目は支援者養成講座を修了したリーダーをと一緒にスリーAを通して仲間づくり・居場所づくりを行いました。	毎週水曜日（5週除） 年44回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防講座	担当の3地区（上大岡・笹下・日野第一）の各保健活動推進員との共催事業で、健康運動指導士の講師によるロコモ予防体操を行いました。	11月（笹下） 2月（上大岡） 3月（日野第一） 各1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
春一番コンサート	音楽ボランティアグループによる演奏を聴いたり、楽器に合わせてみんなで合唱する等、口腔機能低下を意識した音楽活動を行いました。	3月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング講座	港南区歴史協議会の方の話を初回に聞いた後、3コースそれぞれのまちの歴史を感じながら、探検・散歩する感覚で歩いてみました。 講座終了後には振返りを兼ねたおまけサロンを、地域の歴史に詳しい方を招いて行いました。	9月～12月、2月 5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんがわカフェ	認知症の方やそのご家族、地域の方々がどなたでも気軽に立ち寄れる居場所づくりを実施します。	6月、9月、12月、 2月 4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症のつどい みなとみな	若年性認知症の本人と家族が安心して暮らせるように本人、家族の交流の場・情報交換、制度の知識習得、相談をおこなえる場とし、家族負担の軽減を図る。	8月、12月、2月 3回